

令和 6 年度(2024 年度) くまもと県民カレッジ 主催講座

がんの予防・健診 ～がんの備えは大丈夫？～

日時 令和 6 年 10 月 24 日(木) 14 時～15 時

場所 くまもと県民交流館パレア 9 階会議室 1

講師紹介

村上 晴彦 先生

熊本県総合保健センター 副所長 兼 診療部長



(1) 「がんという病気」について

- ① 「がん」は、なぜ怖い？・・・放っておくと、血管やリンパ管に入って転移する
- ② 「がん」と「癌」の違い・・・「癌」は「がん」の一種(上皮性腫瘍)
- ③ 「がん細胞」の発生は、何が原因？・・・DNA(遺伝子)の変異
- ④ 今も皆さんの体の中で、「がん細胞」は発生している！・・・1日に5,000個のがん細胞が発生。
しかし、ナチュラルキラー細胞が退治している
- ⑤ 「がん」は、長生きするほど避けられない

(2) 「がん」の原因

- ① 「がん」は増えている？・・・高齢者の増加とともに増えている(1985年との比較)
- ② 「高齢化の影響」を除くと・・・がんは減っている！
- ③ 「がん」の原因となる生活習慣(喫煙・飲酒・食事・体格・運動・感染)
タバコを1本吸うと、「寿命は5分30秒縮む」と言われている
飲酒により体内に取り込まれたエタノールが発がん性物質に代謝される
- ④ 「遺伝」や「放射線」の影響

(3) 「がん」になっても長生きする方法 → 秘訣は、「生活習慣の改善」と「がん検診」

- ① 「がん死亡」は増えている？・・・高齢化の影響を除くと、がん死亡は減っている
- ② 「かかる人が多いがん」と「亡くなる人が多いがん」
男性・・・かかる人=1位は前立腺がん、亡くなる人=1位は肺がん
女性・・・かかる人=1位は乳がん、亡くなる人=1位は大腸がん
- ③ 検診では「利益」と「不利益」のバランスが重要・・・総合的にみて、利益が不利益を上回ること
- ④ 検診には「対策型」と「任意型」がある・・・対策型(住民検診)、任意型(人間ドック)

※がん検診の現状

- 1) 「胃がん」は「ヘリコバクターピロリ菌」が原因・・・ピロリ菌を除菌する
- 2) 「大腸がん」はかかる人も、死亡する人も多い
- 3) 「肺がん」は死亡率が高い・・・かかる人も、亡くなる人も増えている
- 4) 「乳がん」は若い人にも多く、若くして亡くなる人が多い
- 5) 「子宮頸がん」は、若い人に多く、予防のために「ワクチン接種」が有効

講座の感想

私も熊本県総合保健センターで健診を受けたことがあります。がんは早期発見が大切と言われますが、なかなか受診していないのが実情です。年齢を重ね、健康の重要性を切に感じます。